

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

おん ね ない

月刊 温根内 通信

2022年3月号 No.306

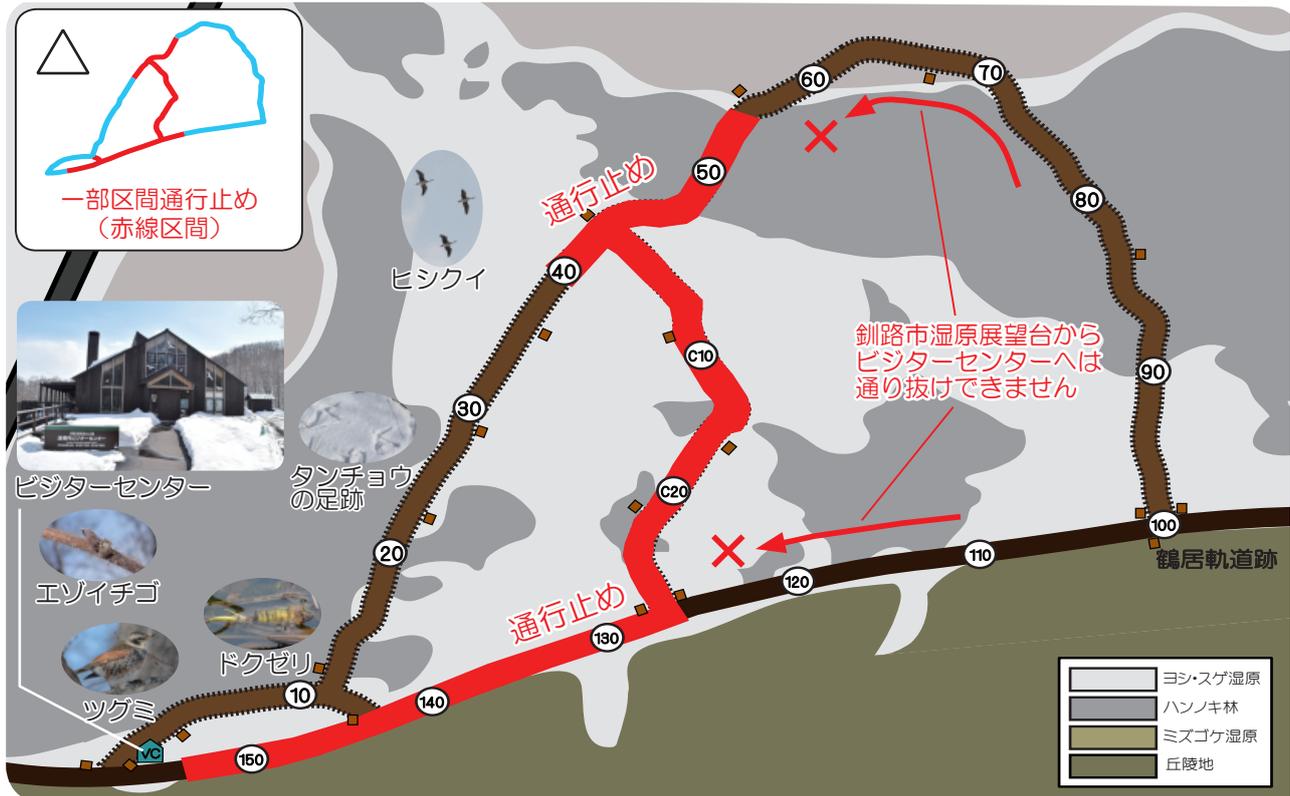
3月15日(火)発行



この時期の大事な儀式

心を掴まれる一幕に出会いました。一風変わった上のタンチョウの写真、これは何をしているのでしょうか？羽を広げているのは昨年生まれた幼鳥、やや手前にいる頭頂部が赤いのが親鳥です。親鳥が子を嘴で突いて、親離れを促している瞬間でした。優しくった親が突然冷たくなり、困惑した様子の幼鳥。しかし、これがこの時期のタンチョウ親子の大事な儀式。立派な大人になってまた姿を見せてほしいものです。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然 (2/15 ~ 3/14) ☆☆☆



【ドクゼリ (根茎)】

セリ科 毒芹
冬を越した根茎が水面に浮かんでいます。ワサビと間違えて誤食する例もあるのでご注意ください。



【エゾイチゴ (冬芽)】

バラ科 蝦夷莓
細かいトゲがある低木です。米粒大の冬芽をつけて、ひっそりと春を待ちます。



【タンチョウの足跡】 留鳥

ツル科 丹頂
雪の解けた湿原で餌を探しながら歩いていたのでしょうか。特徴的な足跡なのですぐにわかります。



絶滅危惧Ⅱ類・国の天然記念物

【ヒシクイ】 旅鳥

カモ科 菱喰
20羽ほどの群れが通過していました。繁殖地へ向かう途中に北海道を経由する旅鳥です。



【ツグミ】 冬鳥

ヒタキ科 鶉
水辺で採餌していました。1月に一旦見られなくなり、2月に再び確認できるようになりました。

もうすぐ見られるかも！



【エゾアカガエル】 早春の湿原にオスの求愛の鳴き声が響きます。

○表紙の写真 上：親離れを促すタンチョウの親鳥とその幼鳥 下：タンチョウの幼鳥

○温根内木道周辺で確認された鳥 一覧表 (2/15～3/14)

釧路地方は野鳥の渡りの時期を迎え、上空ではヒシクイの姿が見られたり、時折「クッロ、クッロ…」というワタリガラスの甲高い鳴き声が聞こえてきたりします。また留鳥の囀りが賑やかになり、キツツキ類のドラミングも聞こえるようになりました。そしてもうすぐ、繁殖のためにやって来る夏鳥の姿が見られることでしょう。

鳥 (和名は日本鳥類目録第7版の順)	7	ハイタカ	14	カケス	21	エナガ	
1	ヒシクイ	8	ノスリ	15	ハシボソガラス	22	ゴジュウカラ
2	オオハクチョウ	9	コゲラ	16	ハシブトガラス	23	キバシリ
3	タンチョウ	10	コアカゲラ	17	ワタリガラス	24	ミソサザイ
4	トビ	11	オオアカゲラ	18	ハシブトガラ	25	ツグミ
5	オジロワシ	12	アカゲラ	19	シジュウカラ	26	カワラヒワ
6	オオワシ	13	クマガラ	20	ヒヨドリ		

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

※3月6日に予定されていた自然ふれあい行事「湿原の裏山でスノーシューハイク」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止といたしました。

☆☆☆☆ 今年度を振り返って ～指導員が感じたこの1年～ ☆☆☆☆

早いもので来月からは新年度の4月が始まります。この1年も、やはり新型コロナに振り回されたという印象でしょうか。今年度、当センターは2度にわたって臨時休館することとなり、また多くの行事が中止となりました。そんな中、比較的感染が落ち着いている時期には地元の小学生たちが湿原学習に訪れてくれました。1年前との違いで気づいたのは、児童の皆さん、「きっちりと」マスクを装着して臨んでくれていることでした。また、大声を出す児童もほとんどおらず、(あまりに大人しいとちょっと不安になりま



鶴居小学校の湿原学習の様子

すが) 子どもたちへのコロナ対応教育が行き届いているのを実感させられました。さて、この1年で個人的に印象深かったことがもう一つあります。それは、ヒグマの目撃情報や事故が道内で多発したことです。ここ鶴居村も例外ではなく、夏から秋にかけて目撃情報が複数件ありました。

☆☆☆☆ 木道が新しくなって、まもなく開通予定です！ ☆☆☆☆

昨年の秋から木道の一部区間の工事が始まり、長期間ご不便をおかけしてきました。「まだ開通しないのかな？」とやきもきされていた方も多いと思います。現在、不通区間となっている木道部分の改修工事は最終盤を迎えています。新しい木道は近日中に開通する予定です。もうすぐ早春の湿原をぐるっと1周できるかと思えます。

通行ができるようになった際は、当センターのホームページやFacebookなどでお知らせいたしますので、チェックしてみてください！



このヒグマ出没の多さと今般の新型コロナの蔓延には、直接的な関係はありません。しかし、これは多くの人が感じていることと思いますが、「人間と自然との距離」という点で、これら2つの事象は根が同じのように思えてなりません。ヒグマとの遭



木道上に残されたヒグマの足跡 (2021年7月)

遇もウイルスの出現も、(本来は滅多に出会わないはずの)人間と自然との距離に、狂いや歪みが生じた結果かもしれません。今回の新型コロナの蔓延がたとえ収まったとしても、このままのペースで人類が地球の開発を続ければ、何年後かにはまた未知のウイルスがこのようなパンデミックをもたらしかねない、とも言われています。私たち人類に対し、このままでいいのか?ちょっと立ち止まって考えるべきでは?と、自然界から警告を受けているように感じています。もっとも、その「警告音」はかなり以前から鳴り響いていたはずですが・・・(温根内ビジターセンター指導員 藤原伸也)

☆☆☆☆☆ 自然ふれあい行事 2022年度の予定 ☆☆☆☆☆

新型コロナウイルスの感染状況により行事自体が中止になる可能性があります。事前にご確認ください。

4月

【春の足音を聴きに行こう】

10日(日) 10:00～12:00

釧路湿原の環境や生態系を中心に学びながら早春の木道を歩きます。



5月

【早朝バードウォッチング】

22日(日) 8:00～10:00

鳥の活動が活発な早朝、釧路湿原とその周辺に集まり始めた夏鳥を探します。



6月

【初夏の花を見に行こう】

5日(日) 10:00～12:00

花の季節到来！湿原を演出する可憐な花や目立たないスゲの花などを観察します。



7月

【夏の樹木と花を見に行こう】

3日(日) 10:00～12:00

緑あふれる夏。草木はどうやって花や実をつけ、次世代へとつないでいくのでしょうか。



【ホタルの週末】

22日(金)～24日(日) 18:30～21:00

釧路湿原に棲むヘイケボタル。そのふしぎな生態を学び、生息環境と光る姿を見に行きましょう。



8月

【夏休み！外来植物を探そう】

7日(日) 10:00～12:00

夏休み特別企画第1弾。温根内周辺の外来植物を観察し、その環境について考えます。



【夏休み！ザリガニウォッチング～ウチダザリガニ編～】

21日(日) 10:00～12:00

夏休み特別企画第2弾。特定外来生物のウチダザリガニを捕獲し、外来種の脅威と湿原への影響を学びましょう。

10月

【ザリガニウォッチング2～ニホンザリガニ編～】

9日(日) 10:00～12:00

釧路湿原に棲む絶滅危惧種ニホンザリガニの生態を学び、生息環境を観察します。



【秋の紅葉を見に行こう】

16日(日) 10:00～12:00

紅葉の季節。鶴居軌道跡の樹木を中心に色づいた木々や実を見つけてみましょう。



11月

【初冬の植物を見に行こう】

13日(日) 10:00～12:00

本格的な冬を前に、植物がどのように冬を越す準備をしているのか観察します。



【クリスマスリースを作ろう】

27日(日) 13:00～15:00

クリスマスを前に、自然の素材を使ってオリジナルリースを作りましょう。



12月

【湿原の「かたち」を見て歩こう】

4日(日) 10:00～12:00

花や葉が枯れ落ち、遠くまで見渡せるこの時期。普段注目しない湿原周辺の「かたち」にスポットを当てます。



1月

【湿原アニマルトラッキング】

15日(日) 10:00～12:00

雪上に残る動物の痕跡から、冬の湿原にはどんな動物が暮らしているのか考えます。



2月

【湿原の裏山でスノーシューハイク】

5日(日) 10:00～12:00

残雪の裏山をスノーシューで歩き、雪解けを待つ植物などを観察します。



3月

【温根内の歴史を探訪しよう】

19日(日) 10:00～12:00

過去の貴重な写真などから、温根内周辺の現在までの歩みを紐解きます。



～開館時間が変わります～

雪解けが進んで、春を感じるような日も多くなりました。

4月1日より開館時間が変更になります。夏季(4/1～10/31)の開館時間は、午前9時から午後5時までとなります。

新年度からもよろしくお願いいたします。

月刊 温根内通信 No.306

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00～16:00 (4月～10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料